

暮らしのアイデアを形に、生活を豊かに便利にする包装

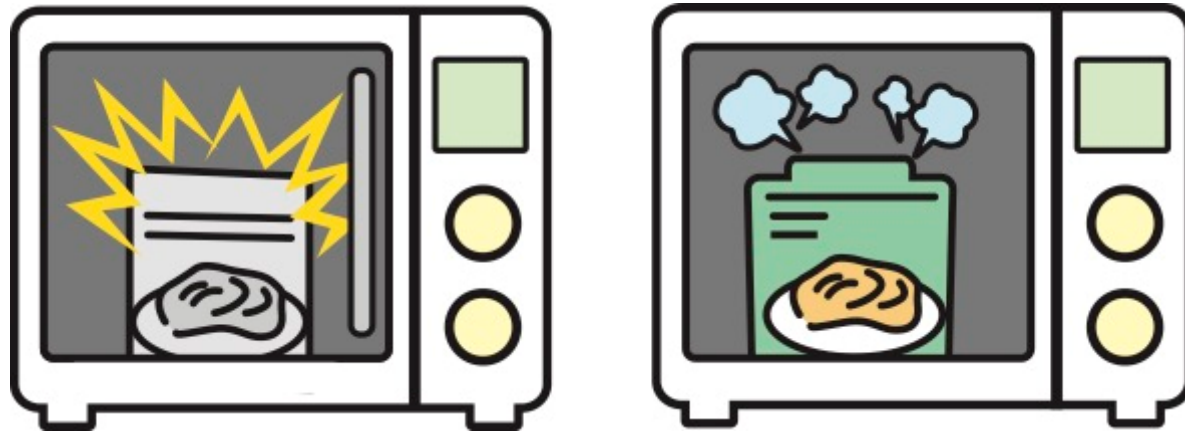
暮らしのアイデアを形に、生活を豊かに便利にする包装



生活に必要なあらゆる製品と一体で存在し、
私たちの生活 = 「暮らし」に欠かすことのできないもの、それが「生活包装」です。

「生活包装」は製品を守るだけでなく、暮らしを豊かにする、さまざまな機能や工夫がつまっています。

暮らしのアイデアを形に、生活を豊かに便利にする包装



アルミ箔を使ったパッケージを電子レンジに掛けてしまうと火花が散ってしまうため、レンジ対応パッケージはアルミ箔を使わずにバリア性を担保しています。



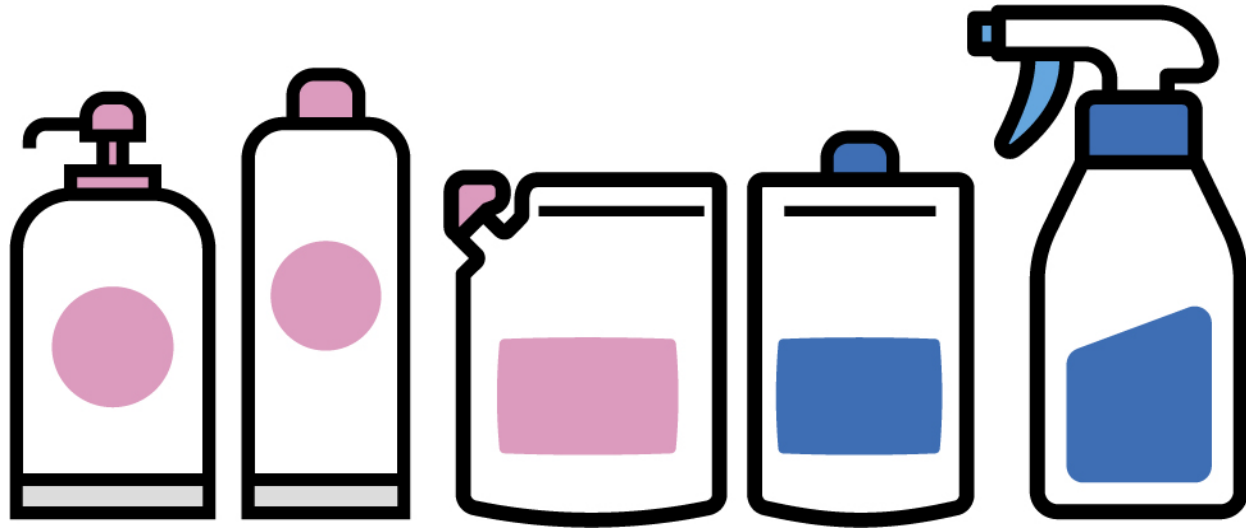
完全密封では加熱時に蒸気が抜けず爆発してしまうため、加熱時に自動で開口する蒸気口が設けられています。

「タイムパフォーマンス」を向上させたい

単身世帯や共働き世帯の増加、高齢化などの社会変化に伴い、「簡単に美味しく食べたい」というニーズが高まっています。

これまで湯せんが必要な商品が中心でしたが、レンジ調理可能なパッケージが開発され、置き換えが進んでいます。また、調理器具や食器を使わず、調理後にそのまま食べられるパッケージも開発され、生活者の「タイパ」の向上にも貢献しています。

暮らしのアイデアを形に、生活を豊かに便利にする包装



生活に「環境にも配慮した選択」を

環境意識の向上に伴い、食品や日用品を購入する際に「環境にも配慮したパッケージを選択したい」というニーズが高まっています。

ごみを減らす、捨てる場合も小さくたためる、あるいは、使い終わった後に回収BOXに入れてリサイクルに回すことができるなど、生活者の環境意識に応えるパッケージを多数開発しています。



シャンプー・リンスやボディソープ、**一昔前は毎回プラスチックボトルを捨てていましたが、昨今は「詰め替え」が当たり前になりました。**これでもごみを減らす工夫です。



パッケージをよく見てみると、「**このパッケージはリサイクル素材が使われています**」等と記載されています。商品を選ぶ際に環境配慮ポイントもチェックしてみてください。

暮らしのアイデアを形に、生活を豊かに便利にする包装



パッケージの使いやすさに貢献する「構造」とともに、商品の顔としての「グラフィックデザイン」も重要な要素です。選ぶとき・使うときにその商品の長がパッと見て伝わるようなデザインの工夫が凝らされています。



商品を使い終えるまで役目を果たすパッケージ。内容物を守るように、完全に蓋を締め切ったときに「カチツ」と音が鳴るといった、人の「五感」へのアプローチをしている商品もあります。

「使いやすさ」で生活を快適に

子どもからお年寄りまで多様な生活者の手に取られるパッケージにおいて、「使う人」に対する「分かりやすさ」「使いやすさ」といったユニバーサルデザイン配慮は必要不可欠な要素となっています。

パッケージがつくられる際には、「ユニバーサルデザイン」の視点から、さまざまな配慮がなされます。表示された情報の見え方、持ちやすさ、開封・再開封のしやすさ、取出し・保管・廃棄のしやすさなど、幅広い要素が含まれます。